

付属資料

1 諮問文

小町戦 第225号
平成27年12月21日

小山町総合計画審議会
会長 山下 護國 様

小山町長 込山 正秀

第4次小山町総合計画後期基本計画（案）について（諮問）

このことについて、第4次小山町総合計画後期基本計画（案）について、小山町総合計画に関する規程第7条第2項並びに第8条第2項により、貴審議会の意見を賜りたく諮問します。

（参考）

今回の第4次小山町総合計画後期基本計画（案）では、後期基本計画の策定と合わせ、基本構想を見直すこととしております。

2 答申文

小総審 第1号
平成28年2月15日

小山町長 込山 正秀 様

小山町総合計画審議会
会長 山下 護國

第4次小山町総合計画後期基本計画の答申について

平成27年12月21日付け小町戦第225号により諮問のあった「第4次小山町総合計画後期基本計画（案）」について、当審議会において慎重に審議を重ねた結果、今後4年間に取り組む計画として妥当なものと認め、下記のとおり意見を付して答申します。

記

1 計画全般について

人口の減少や少子高齢化の進行、地方分権の進展等、地域社会を取り巻く環境が大きく変化する中で、「町民の力、地域の力」を活かし、町民の参加と協働を目指した計画、そして、社会情勢の変化に柔軟に対応できる計画としたことは、時宜を得たものであります。

また、計画の実効性を確保するため、新たに施策評価を導入し、評価結果を計画や事業の改善につなげることとしたほか、施策の主要事業を予算事業とすることで予算との連動を図ることとしたことは、大いに評価できます。

なお、町長政策提言や小山町まち・ひと・しごと創生総合戦略との整合を図るため、計画の期間を4年間とし、1年前倒しで基本構想の実現に取り組むこととしたことも妥当であります。

2 基本構想について

平成27年12月に制定された「小山町自治基本条例」に基づき、まちづくりの基本方針を「参加」、「協働」及び「情報共有」としたことは適切であると考えます。

将来人口については、国の推計人口（2060年の小山町の人口：10,500人程度）ではなく、町が策定した「小山町人口ビジョン」（同：17,000人程度）を反映していますが、同ビジョンに掲げた目標を達成できるよう、官民一体となって各種施策に取り組んでいただくよう要望します。

土地利用構想については、国土利用計画と整合が図られておりますが、各ゾーンの特徴を十分に活かしつつ、社会情勢の変化にも対応できるよう、必要に応じて見直しされるようお願いいたします。

施策の大綱については、基本構想に定める小山町の将来像の実現に向けて、4つの基本目標と37の基本施策を掲げており、それぞれ適切に設定されているものと考えます。

3 後期基本計画について

重点施策には、「小山町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の4つの基本目標に関する施策及び、参加と協働に関する施策が掲げられています。

このうち、「三来拠点事業の推進」と「定住・移住の促進と婚活支援」については、本町の喫緊の課題である地方創生の鍵を握る重要な施策であると認識しておりますので、危機感をもって取り組んでいただくようお願いします。

また、すべての施策について、互いに取り組む協働の姿を掲げ、参加と協働のまちづくりを目指していることは、実に共感するところであります。

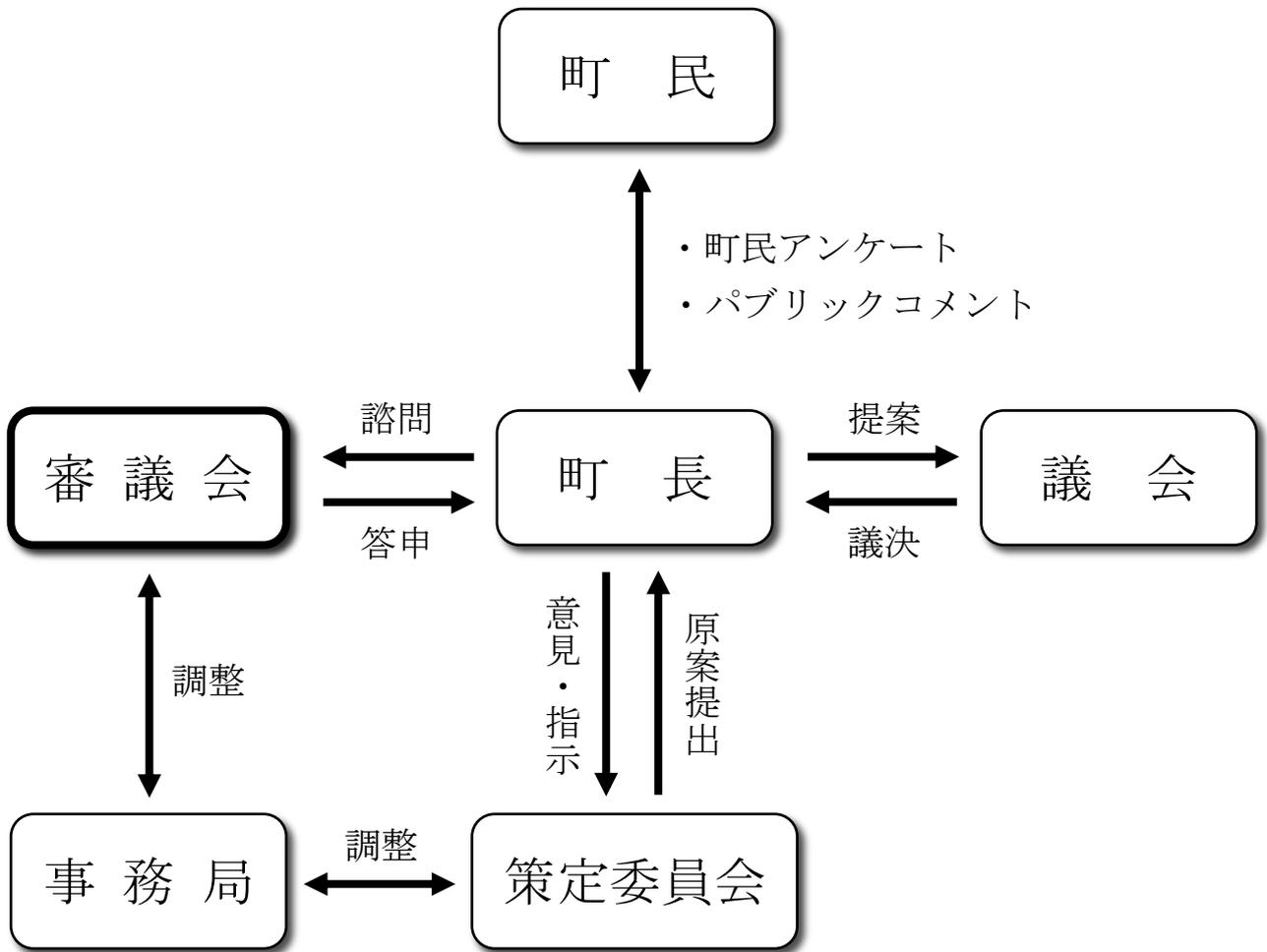
なお、施策の目標については、前期基本計画と同様に、町民アンケート（町民満足度）に関する指標を多用していますが、次期総合計画の策定に当たっては、施策の進捗が極力、数値データによって共有できるように、施策目標を設定していただくようお願いします。

4 結びに

総合計画は小山町の将来を左右する大変重要な計画であります。特に、消滅可能性都市に位置付けられた本町にとって、その実現は本町の存亡に関わるといっても過言ではありません。

町におかれましては、基本構想に定めるまちづくりの将来像「富士をのぞむ 活気あふれる 交流のまち おやま」の実現に向けて、本計画の進行管理を確実に行うとともに、計画の進捗状況を町民に分かりやすく広報し、町民との真の協働により全力で各施策に取り組んでいただくよう、切に要望します。

3 後期基本計画の策定体制



4 後期基本計画の策定経過

時 期	項 目	備 考
平成 26 年 4 月～	基礎調査・アンケート作成	
平成 26 年 12 月 ～平成 27 年 1 月	町民アンケート調査	
平成 27 年 3 月	各課ヒアリング	
平成 27 年 6 月	各課ヒアリング	
平成 27 年 11 月～12 月	各課ヒアリング	
平成 27 年 12 月 18 日	策定委員会（第 1 回）	
平成 27 年 12 月 21 日	第 1 回総合計画審議会 総合計画後期基本計画（案）の諮問 （町長⇒会長）	
平成 28 年 1 月 14 日	第 2 回総合計画審議会	
1 月 18 日	策定委員会（第 2 回）	
1 月 21 日	議会（全員協議会）への説明	
1 月 21 日 ～2 月 11 日	パブリックコメント	3 週間
2 月 5 日	議会（議員懇談会）への説明	
2 月 15 日	第 3 回総合計画審議会 答申（会長⇒町長）	答申案の決定
2 月 15 日	議会（運営協議会）への説明	
2 月 15 日	策定委員会（第 3 回）	最終案決定
2 月 19 日	議案上程	議決

5 小山町総合計画審議会 委員名簿

(順不同、敬称略)

No.	所属役職等	氏名	備考
1	町議会議長	米山 千晴	
2	町議会副議長	池谷 弘	
3	静岡県東部地域政策局局长	滝浪 勇	
4	区長会会長	◎ 山下 護國	
5	社会福祉協議会会長	藤曲 正幸	H28年2月1日まで
		滝口 正	H28年2月2日から
6	民生委員・児童委員協議会会長	○ 渡邊 武夫	
7	教育委員会委員の代表	米山 芳子	
8	農業委員会会長	岩田 敏信	
9	商工会副会長	秋田 敬	
10	観光協会会長	勝又 厚次郎	
11	健康づくり推進協議会会長	岩田 祥吾	
12	連合婦人会会長	小見山 富枝	
13	老人クラブ連合会会長	勝 俣 昭	
14	P T A連合会会長	相原 正和	
15	文化連盟会長	渡辺 光子	
16	消費者実践人參グループ会長	尾登 和子	
17	主任児童委員の代表	勝又 みさ子	
18	都市計画審議会会長	川口 宗敏	

◎ : 会長 ○ : 副会長

【 成美地域金太郎計画 2020 】(概要版)



基本方針

1. 地域のきずなづくり（コミュニティ・地域行事・高齢者福祉・生涯学習）

地域のきずなの輪を広げ、コミュニケーションの活発な地域を目指そう！

成美地域には、古くから培われてきた地域のきずながあります。その根底にあるのは、「あいさつ」です。子どもからお年寄りまでのすべての地域住民が、家族だけでなく、近所の方々と日々のあいさつを通してコミュニケーションを図ることで、心のつながりを維持し、犯罪の抑制につなげていきましょう。

また、コミュニケーションの場として、地域内の多世代交流活動をこれまで以上に促進します。少子高齢化、核家族化、過疎化等の進行により、高齢夫婦だけの世帯や高齢単身世帯が増加しています。そのような方々と子育て世代の交流を活発化することで、子どもや高齢者が互いに顔見知りになり、互いに助け合うことのできる地域を目指しましょう。

なお、これまでの成美地域は、地形的な要因もあり、地区ごとの取り組みがメインでしたが、人口減少や少子高齢化が進行する今後は、同じ成美地域としてお互いが協力し合って、地区の垣根を越えたいきずなの輪を広げていきましょう。



2. 元気・にぎわいづくり（スポレク・商工観光・お祭り・健康・定住）

笑顔とにぎわいがあふれる地域を目指そう！

成美地域は、紡績業で発展した小山町の中心地としての歴史があり、それを物語る行事やイベントが残っています。成美地域の各地区で行われているおまつりやイベントを地域全体で盛り上げ、次世代の子どもたちに継承していきましょう。

一方、人口減少やモータリゼーションの進展により、地域の商業のにぎわいは低迷しています。そこで、まずは成美地域の住民が地元のおまつりやイベントに参加することで、賑わいを生み出し、商業の活性化につなげましょう。

また、高齢化に伴い、健康な体づくりも大きな課題であることから、より多くの方が参加できるスポーツを推進しましょう。



3. 子育てしやすい環境づくり（子育て・教育・防犯・交通安全）

地域全体で、美しい心を持った子どもたちを育てよう！

近年、全国的に少子化が進行し、成美地域においても子どもの数が激減しています。また、核家族化の進行、共働き夫婦の増加など、子どもたちを取り巻く社会環境も変化しています。これに伴い、家庭での育児不安や教育現場でのいじめや不登校、学力低下などの問題が叫ばれています。

しかし、幸いなことに成美地域には、美しい心を持った子どもがたくさんいます。それら、地域の宝である子どもたちに対し、あいさつや声かけなどで日頃からふれあい、家族だけでなく、地域全体で子どもたちを育てていきましょう。特に、いじめや非行といった問題が発生しないよう、子どもたちを見守り、応援していきましょう。

また、親の負担を減らし、子育てしやすい環境づくりにも努力するとともに、防犯対策を進め、子育て世代が安心・安全に暮らせる地域にしていきましょう。

さらに、地域内の幹線道路では大型車両が通行するなど、重大な交通事故の発生も危惧されます。痛ましい事故を起こさないために、地域ぐるみで交通マナーを徹底しましょう。



4. 美しいふるさとづくり（景観・環境衛生・伝統文化・農業）

美しいふるさとの景観と文化を守り、育もう！

成美地域の市街地は、富士・箱根・丹沢の各山系の山間にあつて、中央に鮎沢川が流れています。また、豊かな自然に囲まれているため、風光明媚な四季折々の景色が見られます。特に、富士見橋付近から望む世界文化遺産・富士山の眺望は、成美らしい富士山景観です。

これら、成美地域に残る美しい景観や文化を守り、次世代に引き継いでいきましょう。そのために、ゴミ拾いや花壇の植栽・管理によって、常に美しい成美地域を維持し、地域資源マップの制作や電子図書館の整備などを通し、多くの方に成美地域の魅力をPRしましょう。



5. 安心して暮らせる地域づくり（災害対策・都市基盤）

安心して生活するため、日頃からの備えを進めよう！

平成 22 年に小山町内で発生した豪雨災害や平成 23 年の東日本大震災など、私たちの身近なところで自然災害が発生しています。また、南海トラフ巨大地震など、小山町周辺での巨大地震の発生が懸念される上、豪雨災害、富士山噴火などの可能性も考えられます。

そこで、成美地域では、地域の住民が安心して生活できるよう、効果的な防災訓練の実施や防災意識向上のための勉強会の開催など、日頃から地域の防災力向上を図りましょう。

また、災害に備えた組織や体制の強化も進めていきましょう。



行動する明倫地域金太郎計画 2020

計画の方針

(方針1) 行動する明倫地域づくり

2020年を目指して、地域住民が主体となり、地域を明るく元気にするため、行動を起こします。

(方針2) 住民コミュニティが活発な明倫地域づくり

明倫地域に居住する住民同士が、普段から顔見知りとなり、楽しく交流し、いざというときはみんなでお助け合うことができるコミュニティが活発な地域づくりに取り組みます。

(方針3) 地域の資源を大切に、元気なまちづくりに活かす

明倫地域には、谷戸山や用水路、歴史ある神社仏閣や道祖神等の歴史、明倫小学校を中心とした住宅地など優れた資源が多く存在します。

これらの資源を大切に保全するとともに、健康ウォーキングやハイキングなどを通じて、地域の元気づくりを活かします。

目指す地域の将来像と具体的活動計画の内容

みんなで検討した内容を基に、明倫地域が目指すべき将来像と、具体的な活動の取り組み内容は以下のようになります。

1 災害対策のある安全な地域

①安全安心な道が整ったまち

- ・災害発生時に緊急車両が入り、活動しやすい道路づくり
- ・安全安心な通学路の整備と地域の見守り活動体制づくり
- ・地域の基盤をつくる道路のネットワーク計画

②明倫小学校を拠点とした防災機能が充実したまち

- ・平常時における小学校との連携強化
- ・災害救援物資搭載車両ならびに、自衛隊などの救援車両が入れる道路の整備
- ・区民が安心して過ごせる備蓄（食料・飲料・日用品）の充実と適正な管理

③平常時の地域コミュニティが育む安心安全なまち

- ・イベント等による、地域住民の顔が見える交流活動
- ・災害時に、近所の災害時要援護者（お年寄り、障がい者など）を救援できる体制づくり

2 商店や生活利便施設が立地する利便性の高い地域

①何でもそろい、便利に生活できるまち

- ・住宅地、商業・業務地、公共用地に農地等、将来を見据えた土地利用計画づくり
- ・必要な商品が何でもそろい、町内でも有数の利便性が高いまちづくり（店舗誘致）
- ・子どもから高齢者まで、誰もが住みたくなるまちづくり

②地産地消を推進するまち

- ・地元農家が、公民館やスーパーなどの広場を活用した朝市の開催（土曜日など）
- ・子どもたちが、地域の特産品づくりに参加し、地域の農業を理解し、後世に伝えていく

3 水辺や緑、田畑に囲まれた自然豊かな地域

①歴史と自然環境が楽しめるウォーキングのできるまち

- ・せせらぎの音を聴きながら、歴史、自然を巡るウォーキングコースの指定
- ・住民の心と体の健康をつくる一万歩ウォーキングコースの指定
- ・道祖神巡りコースの指定
- ・ウォーキング（歴史・自然）ガイドの育成
- ・目的に合わせたコースごとのマップづくり（含むイラストや解説）
- ・多様な看板づくり（コース、名所、解説、距離表示、スタート、中継点等の情報）
- ・四季折々の自然が楽しめる谷戸林（森林）公園づくり（展望広場、森で遊べる場所づくり、紅葉が楽しめる場所の整備ほか）

②水辺とホタルを活かしたまち

- ・清らかな湧水池と水音の響く水辺の保全と整備
- ・水量が多く流れが急な場所の安全対策
- ・見学できる湧水池の案内（個人宅でも許可が得られた所は見学ができるようにする）
- ・まちなかにホタルが舞い、多様な生物と共生できるまちづくり
- ・ホタルが毎年見られるように、カワニナやホタルの養殖を研究・実践する（保全活動）



まちなかを流れる清流を生きし、蛍が飛び交うまちづくり

4 高齢者や障害者もいきいき暮らせる地域

①伝統行事の掘り起こし

- ・子どもたちに伝統行事を継承する
- ・子どもと高齢者とのふれあいの機会をつくる（顔が見えるように）
- ・坂下、十王堂、甘露寺宝篋印塔、上合の筆小塚等の見学
- ・ふれあいサロンの充実

②健康ウォーキング

- ・「歴史と自然環境が楽しめるウォーキングコース」における、体力や時間に応じたコースの設定



主に取り組みたい内容の整理

5 地域コミュニティが活発で、イベント等も多く、地域住民みんなで協力し合い支え合う、あたたかい地域

①地域の絆で誰もが笑顔で輝けるまち

- ・みんなが集い、交流できる拠点づくり
- ・学校と地域の絆で、元気な子どもを育むまちづくり
- ・元気に声かけあい、みんなの笑顔が見えるまちづくり

②明倫の大祭り

- ・どんぶらこ、餅つき、流しそうめん、バーベキュー、シイタケ栽培、昔の遊びを継承するほか

③空き家の活用

- ・歩いて集まれる場所での地域コミュニティの拠点づくり
- ・高齢者が集い、元気でいられる交流・活動の場所づくり
- ・近所の人たちが集い、ワンコインで食べられる給食や昼食が食べられる場所づくり
- ・地元の人たちが生きがい対策として、手打ちそば（など）を提供する飲食店づくり



6 子育て世帯が多く、安心して子育てができる地域（施設〈機能・体制〉の充実）

①子育てしやすいまちをPRし、人口増に繋げる

- ・明倫地域の店舗や診療所・クリニック・小学校など、生活利便性をアピールし、安心して子育てできるまちとして、情報発信を行う
- ・空き家などを活用して、子育て中の親子が集える場所の可能性について検討する
- ・サロンへの子ども（幼児）の預かりの可能性について検討（子育て中の母親の通院、美容院、買い物などちょっとした用事で預かれる環境構築）



古民家を活用した育児世代、高齢者が楽しめる場所づくり

7 子どもが元気に遊べる公園（広場）や里山が整備された地域

①家族で楽しめる里山ハイキング

- ・家族で安心して楽しめる里山ハイキングイベントなどを企画し、交流を深める

②子どもが安心して遊べる公園づくり（広場の整備）

- ・羽黒神社東の広場、谷戸山三菱マテリアル南の広場などを借り、誰もが楽しめる手作りの公園を整備する

③谷戸山の整備・保全・活用

- ・地域住民が協力して、谷戸山（谷戸林）を適正に管理する
- ・谷戸山を使った区民が集い遊べる、活動拠点をつくる



谷戸山で誰もが楽しめる場所づくり

【 足柄地域金太郎計画 2020 】(概要版)

■まちづくりの基本的考え方

『 足柄は、土地柄、人柄、今ここから！ 』

さあ、足柄の皆で集まって、
足柄の“大好き”を楽しもう、育てよう、分け合おう

[まちづくりのアイデア]

(1) 足柄の“大好き”を集めよう、磨こう

- 足柄には、足柄山の金太郎・宿場町・足柄城跡・聖天堂・銚子ヶ淵・雄大な富士の景観など、数えきれない足柄の名所・旧跡・歴史・観光スポットがある。
- 足柄の皆が大好きな地域の資源を集めて、磨いて、住む人も訪れる人も、もっと足柄を好きになってもらおう。

- ①馬とカゴで巡る宿場町足柄
- ②足柄マンキツ！フォトロゲイニング大会
- ③全国の金太郎集まれ！金太郎コスプレコンテスト（特別ゲスト桃太郎&浦島太郎）
- ④足柄地区の伝統的なお祭りを昔のにぎわいに
- ⑤足柄の魅力を凝縮したジオラマワールド・体験体感施設（ガイド付き）

(2) 足柄の“大好き”を見せよう、伝えよう

- 足柄の皆は足柄が大好き。足柄の人々が大好き。でも、普段はなかなか伝える機会がない。
- 足柄駅のような、足柄の皆が集まる場で、足柄の大好きを見せよう、足柄を訪れる人々にも、足柄の大好きを伝えよう。

- ①足柄駅を周辺観光案内所も兼ねたホッと一息つけるカフェに変える
- ②動物が居て水がキレイで癒しを感じるロータリーパークに変える
- ③金太郎・熊になったつもりの写真スポットがある
- ④金太郎の腹掛け復活（グッズ販売）
- ⑤あら不思議！座ると音楽が聞こえるベンチ

(3) 足柄の“大好き”を体験しよう、育てよう

- 足柄の大好きは、足柄に暮らし、足柄の素敵な場所で、足柄の皆と同じ時間を過ごすことで育まれた。
- 足柄ふれあい公園のような、足柄の自然や風景に包まれた場所で、足柄の大好きを体験しよう、育てよう。

- ①畑でイベントをやろう（収穫祭、青空市、F-1グランプリ）
- ②振り鉄スポット（子供でも振りやすい台を）
- ③バーベキュー&キャンプ場（畑で採れた野菜を食べよう、レンタルがあると嬉しい）
- ④ベンチと夏場の日影が欲しい
- ⑤遊具を作って（公園の中に）

(4) 足柄の“大好き”をつなごう、広げよう

- 足柄は、足柄駅・駅前ロータリー・足柄サービスエリア・東名足柄バス停で広い世界とつながっている。あしがら温泉・御殿場プレミアムアウトレットなど、賑わい施設も近い。
- 広い世界とつながっている足柄を活かし、色々な地域の人々と一緒になって、足柄の大好きを未来に広げよう。

- ①足柄の良い特性を活かした施設を各ポイントに設置（IC、SA、温泉）
- ②足柄特化型巡回バス TAXY の運行
- ③夢の架橋計画の実現（足柄駅から FSW まで東名・新東名の SIC を含む一大アクセス）
- ④地元住民がより使いやすい施設システムの充実化（地元住民優先）
- ⑤夜でも明るく安全な足柄道の実現（歩道設備・外灯）

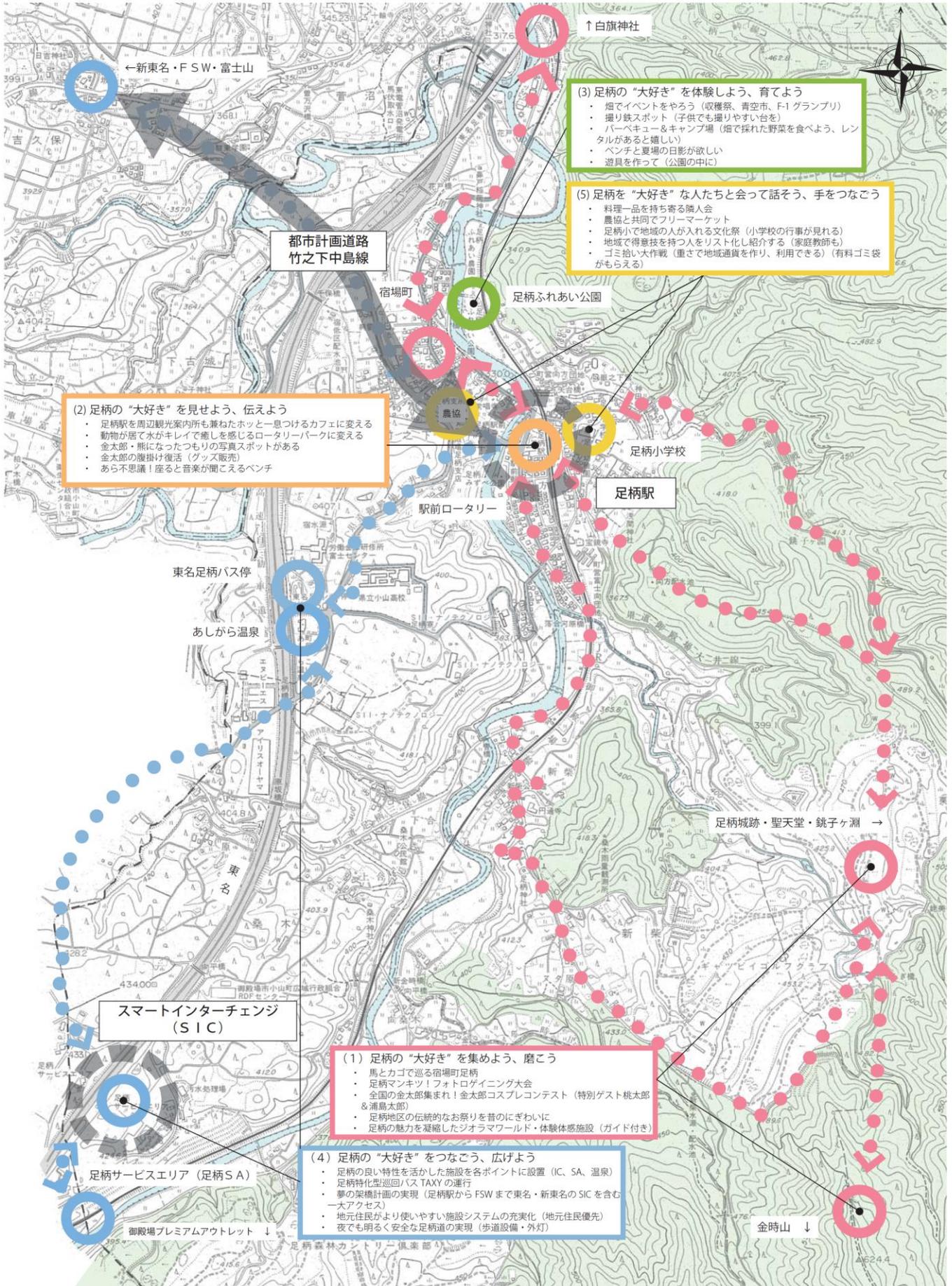
(5) 足柄を“大好き”な人たちと会って話そう、手をつなごう

- 足柄の人々は、足柄が大好き。足柄の人が大好き。
- 皆で集まって、皆が大好きな足柄を話そう。皆と一緒に、大好きな足柄、大好きな足柄の人々を、もっと大好きになる取り組みを考えよう、始めてみよう。

- ①料理一品を持ち寄る隣人会
- ②農協と共同でフリーマーケット
- ③足柄小で地域の人が入れる文化祭（小学校の行事が見れる）
- ④地域で得意技を持つ人をリスト化し紹介する（家庭教師も）
- ⑤ゴミ拾い大作戦（重さで地域通貨を作り、利用できる）（有料ゴミ袋がもらえる）

*[まちづくりのアイデア]は、第2回足柄地区サロンで参加者から提案されたものです。

■足柄地区の将来の発展と課題のイメージ



北郷地域の将来像と取り組みの方向性

将来像実現に向けた取り組みの方向性と具体的な活動案

1 豊かな自然を次世代へ

富士山の眺望・豊かな水・穏やかな田園風景など、北郷地域の素晴らしい自然を守り、育み、活用し、自然の豊かさを大切に思う心を、次世代に引き継いでいきましょう。また、穏やかな風景を育んできた歴史や伝統を守り、情報として発信していきましょう。



具体的な活動案

- ①富士山の眺望を生かした地域景観づくり
 - ・富士山の眺望が良い場所の指定
 - ・眺望景観の保全
 - ・休耕田を利用したお花畑づくり など
- ②穏やかな田園風景などの保全
 - ・四季折々の良好な地域景観地点・区域の指定および景観保全
- ③歴史や伝統の継承
 - ・地域に伝わる昔話や慣習についての情報収集・情報発信
- ④“(仮称)北郷ふるさとマップ”の作成と活用
 - ・良好な眺望地点や地域景観地点・区域、歴史にまつわる情報・関連場所などを整理したマップの作成

2 暮らしやすさを育む

子どもからお年寄りまで誰とでも気軽に声をかけ合える、安心・安全な地域づくりにみんなで取り組み、買物やバス交通などの利便性についてみんなで考え、暮らしやすさを育てていきましょう。



具体的な活動案

- ①“北郷あいさつどおり”の周知
 - ・“北郷あいさつどおり”を指定し、あいさつを行うことを努める
- ②“見まもり隊”の結成
 - ・地域の方などで構成する“見まもり隊”の結成と高齢者・単身世帯などへの巡回訪問
 - ・防犯対策として、道路に面する窓辺や玄関先などに花を飾ることの各世帯への呼びかけ
- ③ゾーン30の指定(歩道、街灯の整備)
 - ・制限速度時速30km以下の区域を指定するゾーン30などの導入の検討
 - ・歩道や街灯の整備促進
- ④公共交通等の利便性向上
 - ・公共交通の利用者の希望等を調査
 - ・関係機関等との協議と利便性の高い公共交通の導入の検討
- ⑤買物環境充実の検討
 - ・買物に関する要望の把握、方向性の整理

3 交流によるにぎわいづくり

北郷地域で、すでに行っている交流の機会を充実させるとともに、地域外の人々との交流の機会も創り、活気とにぎわいがあふれる地域にしていきたいと思います。



具体的な活動案

- ①従来からの“集い”の充実
 - ・“産業文化祭”や“区民体育大会”、“夏祭り”など、従来からの“集い”を活性化・充実
- ②“集い”を住民主体で開催
 - ・公民館、総合文化会館等を利用して集いの場を設置
 - ・誰もが参加できるプログラムを検討し、“（仮称）おしゃべりサロン”などを住民主体で企画・開催
 - ・北郷サロンを今後も開催し、住民の意見・アイデアを共有
- ③“特産品”の情報発信
 - ・様々な“特産品”を、多くの人々に知っていただき、味わっていただくため、内外に情報発信
 - ・新鮮野菜やおいしいお米の直売所の設置を検討
- ④“集い”の魅力の情報発信
 - ・北郷地域で開催される様々な“集い”に、多くの人の参加を促進するため、内外に情報発信

4 健康でいきいき・長生き

北郷地域で多世代が一緒に暮らす強みを生かし、家族全員がお互いを気づかい、健康への意識を高めましょう。健康を保つために、地域の集いや活動に積極的に参加しましょう。



具体的な活動案

- ①“集い”や活動への積極的な参加
 - ・北郷地域に住むみなさんは、お互いの意見を尊重して地域の集いや活動に積極的に参加
 - ・集いや活動の場は、ユニバーサルデザインに配慮
- ②ウォーキングなど、体を動かす場づくり
 - ・マップづくりにあわせて、おすすめ散策ルートを設定し、ウォーキングコースなどとして整備
- ③みんなで楽しく食べる場づくり
 - ・新鮮野菜やおいしいお米を使った手作り料理を食べながらの交流の場の創設

【 須走地域金太郎計画 2020 】 (概要版)

まちづくりの目標と体系 ● 須走地域金太郎計画 2020

将来像

目 標

す・ば・ら・し・き
須 走
富士山にいだかれ、恵みを大切にしたい豊かなふれあいが、人を輝かせるまち

す
住むことが
楽しい

“住みたい”
気持ちを抱けるまち
・須走暮らしの魅力体験、発信
・富士学校関係者の定住促進

“住み続けたい”
気持ちが育つまち
・魅力的な生活拠点の形成
・地域ぐるみで子育て支援
・健康・医療サービスの利便性向上
・幼保小中（学校）連携

暮らしの安全・安心を
高める
・顔の見える地域づくり
・富士学校や他の自治体等との協力による災害対応、救急医療の体制構築
・備蓄など災害への備え
・生活必需品全般をストックできるスーパー等の誘致

ば
場の力で
観光・交流

世界遺産のまち須走を
アピール
・須走口富士登山の再興
・国道 138 号 IC 周辺玄関口機能の充実
・本通りの散策機能強化
・道の駅、浅間神社、本通りの回遊性強化

須走の資源の
磨き上げ
・立山、豊富な水等自然や歴史資源の活用
・公園等の有効活用

新たな観光交流
資源の創出
・新たなイベントの創出
・市民活動や起業等チャレンジ活動への支援

ら
来訪しやすさ
向上

広域圏での存在感
向上
・ぐるり富士山風景街道など広域連携事業への参画
・富士学校等での既存広域集客イベントの活用

広域交通網整備に
併せた集客・誘導
・道の駅すばしりの活用
・新東名高速道路御殿場 IC、(仮) 小山スマート IC、及び R138 号からの誘導機能充実

情報発信力の
向上
・マスコミのフル活用
・ホームページ、SNS による情報発信強化
・富士学校関係者への継続的な情報提供、口コミ活用

し
仕組みを
整える

域内経済循環の
構築
・イベントなどでの機会損失を減らす連携体制
・新規開業者の誘致
・地製、地消商品の開発

住機能と観光機能の
調和
・ゾーニングに基づく計画的土地利用
・生活拠点エリアの計画的な形成

緊急時対応体制の
充実
・災害初動時の適切な判断
・情報提供、避難誘導が可能な体制
・富士山噴火時の緊急避難体制の整備（ヘリ避難、シェルター整備等）
・ボランティアの受入体制整備

き
協働で
進める

まちづくり推進協議会
の効果的な運営
・須走地域内の地域活動団体間の連携体制構築、強化
・総合計画の進行管理
・まちづくり事業の優先順位づけ、戦略的展開に向けた企画、調整

地域内の合意形成力の
向上
・まちづくり情報の共有
・まちづくりリテラシーの育成
・住民のニーズ、ウォンツの把握

事業・プロジェクト



目標との関連：赤は主たる関連 緑は従たる関連

再構 まちのコアづくり ～須走といえばここ～

- ① 須走の顔づくり 目標との関連：す・ほ・ら・し・き
 富士浅間神社と本通りを“まちの顔”として魅力を高めると共に、雪害対策等防災機能を強化する。また、須走ならではの富士山や風景のビューポイントを発掘、発信し、須走の魅力をアピールしていく。
 国道 138 号バイパス整備に併せて、IC 周辺を須走の玄関口とし修景していくと共に、須走地域への円滑な誘導を図る。
- ② 子育て・暮らしの便利コアの形成 目標との関連：す・ほ・ら・し・き
 検診、予防接種等、地域で安心して医療・健康サービスが受けられる環境や、親子カフェ等、気軽に立ち寄れる子育て交流拠点の設置等、地域ぐるみで子供たちを応援する体制を強化する。
 また、買い物等の生活基盤となる施設が集積する拠点を形成し、機能を充実していく。買い物、飲食、健康・医療の利便性を向上させることで“住みたい”“住み続けたい”気持ちを育む。

再考？防災・減災 ～正しく恐れて着実な備え～

- ① 顔の見える地域づくり 目標との関連：す・ほ・ら・し・き
 緊急時の互助、共助の基盤となる“顔の見える地域づくり”を進める。
- ② 災害時の富士学校や他の自治体等との連携体制強化 目標との関連：す・ほ・ら・し・き
- ③ 防災備蓄の充実 目標との関連：す・ほ・ら・し・き
 自助の備えとして、家庭や事業所での備蓄を徹底する。
 また、共助の備えとして地域での備蓄を充実する。
- ④ 災害を学ぶ機会の創出 目標との関連：す・ほ・ら・し・き
 体験したことのない噴火や、スーパー台風など激甚化する災害などについて学ぶ機会を設ける。
- ⑤ 防災基盤の充実・強化 目標との関連：す・ほ・ら・し・き
 道路の雪害対策の強化・資機材の充実、噴火避難シェルターの整備、住宅などの耐震化の促進等を図る。

最高！須走暮らし ～富士山の恵み満喫～

- ① 住む人プロジェクト 目標との関連：す・ほ・ら・し・き
 富士山にいだかれながら暮らすことの魅力や、厳しい自然との付き合い方等を実感できる機会を増やすことで、須走ならではの暮らしの醍醐味を実感できる機会を増やす。転入してきた家族が富士山に親しみ、地域に役立つ体験をすることで地域への愛着を深めるイベントを実施する。
- ② 縁の人プロジェクト 目標との関連：す・ほ・ら・し・き
 富士学校関係者等、須走に住んだことがある人たち、特に子供たちにとって、須走が第二の故郷となり、須走との交流を継続できる関係づくりを行う。

さあいこう ひたすら情報発信 ～広がれ、はばたけ、須走情報～

- ① まちの情報拠点の整備 目標との関連：す・ほ・ら・し・き
 須走地域の見るべき（見せたい）場所を効果的に伝え、須走ならではの交流やふれあいを通じた情報発信を行う拠点づくりを行う。この拠点を緊急時の観光客や住民への情報拠点としての活用を図る。
- ② 地域情報誌の発行、マップの整備 目標との関連：す・ほ・ら・し・き
 須走地域について須走地域について、子育て支援、防災情報をはじめ多面的、横断的な情報を集積した情報誌やマップを発行する。また、ロゴなどを制作し、地域 CI を進める。
- ③ ICTの活用 目標との関連：す・ほ・ら・し・き
 SNS等の活用により、地域ポータルサイトを開設し、観光情報等外への発信を活発化する。加えて、子育て情報等の地域内の情報交流や災害など緊急時の連絡網な多面的など活用を図る。
- ④ 須走大使など、地域サポーターづくり 目標との関連：す・ほ・ら・し・き
 須走の魅力を口コミなどで発信し、須走をサポートする人のネットワークを構築する。

再興 須走口 ～須走口登山 ここが魅力～

- ① 五合目までの登山道：活用しながら整備 目標との関連：す・ほ・ら・し・き
 一部荒廃した状態になっている、五合目までの登山道を観光客や住民が参加体験するプログラムを実施しながら、四季を通じて利用できる登山道として整備する。
 また、星の名所であることなど、特色を活かしたイベントを実施する。
- ② オリジナル須走登山ツアーの促進 目標との関連：す・ほ・ら・し・き
 富士山の保全や伝統的な登山の作法などの学習体験を取り入れた、住民参加型のオリジナル登山ツアーを企画し、商品造成につなげる。
- ③ 富士山関連の催事・イベント充実 目標との関連：す・ほ・ら・し・き
 開山式や富士山の日等におけるイベントを住民と観光客との交流や、住民が富士山の恵みを実感し、次世代へと継承する意識を高める機会とする。